

小中合同農業体験 「稲刈り」

2017. 9. 7「ヨシクマ新聞」より



民会議からの支援も加わった。

五郷 児童生徒が稲刈り体験

収穫の秋に感謝し



【激励する大橋世話人】

熊野市五郷町の「ふる郷創生実行委員会」吉田和男委員長、大橋秀行世話人は5日、同町の五郷中、小学校の子どもたちと稲刈り

【五郷消防団はじめ地元建設・建築会社有志で組織。昨年度からJA三重南紀の協力を得て、地区の小学校と共に低農薬・有機米のコンヒカリ「ホタルの光」の栽培に取り組んでいる。学校行事の一環でもある米づくりには熊野市青少年育成市民会議五郷町

この日は会員はじめ五郷小、中の全校児童生徒が参加。はじめに伊藤校長が「この日を迎えられるのは、毎日のように地域の方々が水の管理や除草などを行ってくれたおかげです。お世話になった人への感謝を込めて稲刈りを行い、12月の収穫祭でこのお米を使った料理を作っておもてなしをしましょう」と挨拶。五郷小子ども会と平太樹会長が「協力して稲を刈りましょう」と呼びかけ

【豊作に笑顔の児童たち】



【豊作に笑顔の児童たち】

地域の皆さんのおかげで、貴重な体験ができました。感謝の気持ちをこめて12月に「収穫祭」を行います。ぜひ参加して下さい。



協力して「収穫の秋」喜ぶ

ふる郷創生 五郷小、中学校と稲刈り 実行委員会

熊野市五郷町の「ふる郷創生実行委員会」五十人が参加。伊藤校長が「毎日田んぼを育てることに感謝し、稲刈りを行い、昔ながらの農作業に汗を流した。昨年度に続いて、低農薬で栽培する取り組みで、三重南紀農業協同組合が協力。四月十八日に五郷保育所近くの田んぼで、田んぼ七ヶの水田で、田んぼを美しく、草取り機を使って除草作業をした。この日は、小中学校

【稲刈りについての説明を聞く児童生徒】

【稲刈りに参加した小中学生】



黄色に実った稲を収穫した子どもたち



稲刈りに参加した小中学生

【稲刈りについての説明を聞く児童生徒】



【稲刈りについての説明を聞く児童生徒】

【稲刈りについての説明を聞く児童生徒】